

極東バイタルメディア

CCMA培地

本培地は、臨床的に *Clostridioides difficile* 関連下痢症・腸炎を疑う検体からの *C. difficile* の選択分離用培地です。本菌が発育すると、その多くは辺縁がラフ型の黄色集落を形成します。また、馬小屋のような特有の悪臭を発するのが特徴です。培地中に含まれる選択剤により、腸内細菌叢を構成する腸内細菌科およびブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌、酵母様真菌が抑制されるため、糞便検体のスクリーニング検査に有効です。検体中に存在する *Enterococcus* spp. が抑制されずに発育する場合もありますが、スムース型の半透明～赤色集落を形成するため *C. difficile* との判別は可能です。



培地組成 (1,000 mL 当たり)

ペプトン	40.0 g	ニュートラルレッド	0.03 g
マンニット	6.0 g	発育素	—
リン酸水素二ナトリウム	5.0 g	選択剤	—
リン酸二水素カリウム	1.0 g	寒天	15.0 g
塩化ナトリウム	1.0 g	pH	7.2±0.2
硫酸マグネシウム	0.1 g	※典型的な組成を示しています。	

製品コード

1包装×10 (10 枚) (統一商品コード No. 551-06914-3)

有効期間

3ヶ月



極東製薬工業株式会社

エタノール処理による効果

C. difficile 陽性 16 検体を生理食塩水 2 mL に懸濁し、検体希釈液を調製。

エタノール未処理（検体希釈液と等量の生理食塩水を混合）と、エタノール処理済（検体希釈液と等量のエタノールを混合）を各社培地に接種し、35°C、48 時間嫌気培養した。

夾雜菌の発育検体数

	本品	A社	B社
エタノール未処理	4	5	16
エタノール処理済	0	0	1

<まとめ>

本品についてエタノール未処理の場合、16 検体中、4 検体で夾雜菌の発育がみられた。

一方、エタノール処理済では、夾雜菌の発育が抑制された。

使用上および取扱い上の注意 ※以下の注意をよく読んでからご使用ください

- 微生物の取扱いに習熟した人の指導の下に、バイオハザード対策を実施した上で使用してください。
- 本培地で *C. difficile* を確定することはできません。発育した集落は同定試験等を行い確定してください。
- 検体によっては一部の *Enterococcus* spp. が抑制されずに発育することがあります。
- シャーレの破損が認められるものや嫌気指示薬が紫色に変化したものは使用しないでください。
- 有効期限切れの製品は使用しないでください。
- 培地の保存は必ず冷暗所（2 ~ 10°C）で、凍結ならびに乾燥しないようにしてください。
- 冷蔵庫からの頻回な出し入れは性能の劣化を招きますので、極力お避けください。
- 目的に適した培養条件（温度、嫌気培養等）をご使用ください。
- 本培地を使用する場合は、室温に戻してからご使用ください。
- 使用済みの培地は 121°C、30 分以上高圧蒸気滅菌を行い、速やかに廃棄してください。
- 廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。

嫌気培養 - アネロパック® シリーズ -

嫌気性菌の培養を行なうには、培養環境から酸素を取り除き無酸素の環境を作り出す必要があります。
アネロパックでは、水・触媒や、高価な装置を使用せずに、嫌気環境を作り出すことができ、嫌気培養を手軽に行なうことができます。



アネロパック®・ケンキ



アネロパック®・ケンキ



別売品として取扱いがございますので、弊社までお問い合わせください。

お問い合わせ先

 極東製薬工業株式会社

本社 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 7-8
TEL : 03-5645-5664 FAX : 03-5645-5703
<https://www.kyokutoseiyaku.co.jp/>